

## リニア関連の研修計画なし？

### 「令和5年度社員教育について」業務委員会を開催

本部は3月10日、「令和5年度社員教育について」について業務委員会を開催しました。

会社は、主な取り組みとして、『令和5年度の主な取り組み』(1)教育機会の充実による社員能力の更なる向上で「中央新幹線を含めた3世代の鉄道事業の運営、経営体力の再強化に向けた様々な経営課題を見据え～」で、①経営環境変化に対応する教育施策の展開、②マネジメント力の向上を図る研修の実施、③女性活躍推進に関する研修等の実施、④各種選抜研修のブラッシュアップ、⑤「One STEP」活動の推進、(2)「安全意識」、「規律・規範意識」の更なる醸成、(3)職場内・組織間における対話の量と質の向上、(4)若手社員の早期育成、(5)総合研修センターを活用したJ R 東海グループとしてのレベルアップ等について説明を行いました。

組合からは、リニア関連の研修がないことで、会社がリニアのやる気があるのかと強く主張しました。

#### 〈主なやり取り〉

組合：令和4年度の研修の実績は。

会社：245講座、延べ受講人数は10,000名となる見込み。

組合：令和5年度の計画は。

会社：計画では260講座、延べ10,000名の参加を計画している。

組合：(1)の①から⑤について、令和4年度の内容とほぼ一緒か。

会社：ほぼ変わらないが、①で経営環境の変化としている。去年は社内外の環境変化としていたものから変えている。

組合：変えた理由は何か。

会社：ICTを高めるとか、オンラインを活用してとなるが、コロナ禍の影響でここ数年厳しい経営状況にある。その中で経営体力の再強化に向けて、業務改革を推進するとか、新しい発想で収益拡大に向けて挑戦していく。社員一人一人が能力を対応できるようにしていくための考え方を示すため

に変えた。色々なツールを活用して実施していく。もうひとつは社外の講師を招いて実施することも考えている。

組合：(2) から (5) について、昨年と同様の内容であると考えていいか。

会社：そうである。繰り返し実施する側面もあるので、変わるものではない。

組合：(5) でグループ会社のレベルアップについて、令和4年度の実績はどうであったのか。

会社：令和4年度は29社で2,300名で実施した。

組合：令和5年度のグループ会社への教育計画はどうなっているのか。

会社：計画としてはグループ会社に発信して、グループ会社にニーズがあれば教育を実施していく。もうひとつは当社の研修にグループ会社の社員も参加する研修がある。一緒に行く研修もある。講師が出向くこともあるし、グループ会社から相談を受けることもある。そのような形となっているので、令和5年度のグループ会社の研修の実数は、現時点では明確になっていない。

組合：業務改革に関わる教育について、各講座の中にあるのか。

会社：業務改革に関して色々な中身があるが、特に新技術を使って効率化を行うもののポイントとしては、データベースを駆使するとか、システム開発をする能力が必要になってくる。そこに社員を対応させていくイメージである。

組合：今年度の新入社員研修はどのような形態をとるのか。

会社：今年度は完全集合形式をとる。従来の形に戻る。

組合：研修センターで今は一人部屋だが、二人部屋にする動きはないのか。

会社：状況に応じてとなるが、今は一人部屋である。新入社員研修は一人部屋で行うことは確定している。

組合：食堂でもコロナ対策を実施しているのか。

会社：同じ方向で着席し、黙食で実施している。

組合：(3) で管理者層がキーマンと謳っているが、廃止する研修で管理者コミュニケーション研修があるのは、矛盾していないか。

会社：管理者コミュニケーション研修は、新入社員等の若い世代とのギャップを埋めるために行ってきた研修であるが、退職した管理者いわゆる専任社員管理者の対象者が減ったので廃止したものである。管理者を対象とした教育は実施していく。

組合：管理者コミュニケーション研修は、専任社員管理者を対象としていたのか。

会社：上の世代の管理者を対象としていた。

組合：廃止する研修で車掌養成講座（在・幹、総合職）とある。どういうことか。

会社：総合職の中でも事務系統の社員の運用に関わる部分であるが、今は駅と車掌を経験して鉄事に配属するという流れが一般的であるが、新幹線と在

来線の両方の駅を経験して、車掌研修をなくして配属する形になる。

組合：では総合職の車掌は来なくなるのか。

会社：運輸系統にはいる。

組合：ワンマン化時代になりつつあるから、車掌はいらないから廃止と思った。

会社：そのこととは違う。

組合：営業制度科を新設するのは、出改札担当が対象としているのか。

会社：出改札の自動改札機等の機械に対して、プログラミングや保守のために開設する研修である。磁気券判定仕様科も同じ趣旨である。

組合：中途採用新入社員研修をいつ実施するのか。

会社：時期は確定していない。

組合：何人くらい予定しているのか。

会社：数は把握していないが、この研修は発生するのは事実で、一桁の対象者となる。

組合：国家資格が関係する研修はあるのか。

会社：転換する運転士・動力車に関するものが関係する。

組合：世の中の動きとして、自ら資格を取得し、スキルを上げて雇用してもらおうという流れであるし、経労委報告にもある。それに沿って当社もなっていくのか危惧する。

会社：鉄道業が主体の会社なので、資格取得を研修でやっていくことには変わりはない。

組合：鉄道業はこの世の中の流れにはマッチしない。

会社：資格を取りたいと希望する社員はいるので、支援する体制は行っている。

組合：自己啓発の補完にあたるのではないか。

会社：社内通信研修がそれにあたる。

組合：リニアの開業は2027年に変わりはないか。

会社：変わりはない。

組合：では、リニアに関する研修があっても、時期的におかしくはない。

会社：大丈夫である。

組合：今から備えるために研修がないのはやる気があるのかとも感じる。本当に大丈夫かと感じる。

以 上

会社資料は次ページ掲出

## 令和5年度社員教育について

令和5年3月10日  
東海旅客鉄道株式会社

### 1 令和5年度の主な取り組み

- (1) 教育機会の充実による社員の能力の更なる向上  
中央新幹線を含めた3世代の鉄道事業の運営、経営体力の再強化に向けた様々な経営課題を見据え、それぞれの職責に応じた識見、技術力、マネジメント力等を磨く研修を実施する。
  - ① 経営環境の変化に対応する教育施策の展開
  - ② マネジメント力の向上を図る研修の実施
  - ③ 女性活躍推進に関する研修等の実施
  - ④ 各種選抜研修のブラッシュアップ
  - ⑤ 「One STEP」活動の推進
- (2) 「安全意識」、「規律・規範意識」の更なる醸成  
当社の経営の根幹である安全の重要性、当社社員に求められる規律・規範意識に基づく自律的な行動を定着させるための教育を繰り返し実施する。
  - ① 新入社員研修における教育
  - ② 各種集合研修における教育
- (3) 職場内・組織間における対話の量と質の向上  
職場内・組織間における対話の量と質を向上させ、業務成果のスピードアップ、レベルアップを実現するとともに、社員一人ひとりが生き活きと働ける職場環境を構築する。「対話」の量と質の向上においては、特に管理者層がキーマンとなることから、新任管理者を対象とした研修において、ポイントや留意点の解説等、実践的な教育を行う。
- (4) 若手社員の早期育成  
ベテラン層の退職を踏まえ、若手社員の早期かつ着実な成長に資する教育を実施する。
  - ① N-0JTのブラッシュアップ
  - ② 集合研修による技術教育の充実
  - ③ 自己啓発による補完
- (5) 総合研修センターを活用したJR東海グループとしてのレベルアップ  
JR東海グループ全体の社員教育の拠点である総合研修センターの人材や設備を活用し、グループ全体の教育のレベルアップに取り組むとともに、グループとしての一体感の醸成を図る。
  - ① 当社主催研修へのグループ会社の参加促進
  - ② グループ会社の教育機会の拡大

### 2 研修計画

- (1) 新設する研修(20)
  - ・マイ・キャリアパス研修
  - ・輸送担当者養成講座(てこ扱い)(幹)
  - ・機械主任講座
  - ・機械プロ大3年目・プロ高専4年目フォロー研修
  - ・機械プロ大・プロ高専7年目フォロー研修
  - ・機械一般業務講座
  - ・機械新規技術・事例研究講座
  - ・機械積算講座
  - ・機械設計講座
  - ・機械設備(建物附属・車検)講座
  - ・機械設備(昇降機)講座
  - ・機械保安関係講座
  - ・機械保全講座
  - ・営業制度科

- ・磁気券判定仕様科
- ・TOICA システム・判定仕様科
- ・昇降機設計科
- ・新幹線 IC システム・判定仕様・事例研究科
- ・建設安全（在来線）基礎講座
- ・中途採用新入社員研修

(2) 再開する研修（11）

- ・セルフマネジメント研修
- ・電気車運転講習課程（転換）
- ・車両パンタ科
- ・車両 ATS 科
- ・車両運用基礎講座（幹）
- ・車両構造科
- ・クレーン技能コース（床上操作式 5 t 以上）
- ・信号保安設備専門技術科
- ・変電設備技術科（在）
- ・変電設備技術科（幹）
- ・電子制御装置技術科（在）

(3) 休講する研修（12）

- ・フォアランナー研修（海外コース）
- ・キャリア・アップ研修
- ・車両台車科
- ・車両エンジン科
- ・車両 ATC 科
- ・車両運用基礎講座（在）
- ・転てつ装置・軌道回路技術科（在）
- ・転てつ装置・軌道回路技術科（幹）
- ・CTC 装置技術科（在）
- ・パワーエレクトロニクス技術科（幹）
- ・電車線路設備専門技術科
- ・病院管理者シニア研修

(4) 廃止する研修（3）

- ・管理者コミュニケーション研修
- ・車掌養成講座（在・総合職）
- ・車掌養成講座（幹・総合職）

以上